

バリアフリー対応度調査シート

棟名称：

【調査手順】

- ・不特定多数の方が利用する主要な空間・部位に対して調査を実施して下さい。
- ・下記に示す確認項目について現地にて確認を行い、適合している場合は「○」を、不適合の場合は「×」、該当なしの場合は「-」をセルのプルダウンリストから選択して下さい。
- ・下記一覧の赤枠部分の「①-h 敷地内の通路」「②-b 駐車場」「②-i 案内設備」は、施設としての確認項目であるため、「バリアフリー対応度調査1」のみご回答下さい。

※本調査シートは、今後の県有施設の有効活用を図っていくことを目的として、現状建物のバリアフリー対応度を簡易的に把握するための調査シートであり、バリアフリー法（H18年 国土交通省）や沖縄県福祉のまちづくり条例に適合しているか否かを判断するものではありません。

確認場所		確認項目	適合 チェック
①-c 出入口	(1)一般	自動ドア	挟まれることのないよう危険防止措置を講じる
	(2)利用円滑化経路*	幅(有効)	80cm以上
		戸の構造	自動的に開閉その他車いす使用者が容易に開閉して通過できる構造かつ前後に段差なし
①-d 廊下等	(1)一般	表面仕上げ	粗面、又は滑りにくい等の材料仕上げ
	(2)利用円滑化経路*	突出物	設けない
		幅(有効)	120cm以上
		転回場所の設置	末端付近かつ50m以内の区間ごとに設ける
①-e 階段	(2)利用円滑化経路*	戸の構造	自動的に開閉その他車いす使用者が用意に開閉して通過できる構造かつ前後に段差なし
		表面仕上げ	粗面、又は滑りにくい等の材料仕上げ
		段の構造	段鼻の突き出しがない等つまづきにくい構造
①-f 傾斜路	(1)一般	階段の形状	回り階段としない
	(2)利用円滑化経路*	表面仕上げ	粗面、又は滑りにくい等の材料仕上げ
		幅(有効)	階段代用120cm以上、階段併設90cm以上
		勾配	1/12以上
①-g エレベーター等	エレベーター等の構造	踊場の設置	高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上
		かごの停止階	利用居室・車いす使用者用便房・同駐車施設・地上階
		かご及び昇降路の有効幅	80cm以上
		かごの奥行き	135cm以上(1,000㎡未満で幅100cmの場合110cm以上)
		乗降ロビーの構造	高低差がない・幅及び奥行き150cm以上
		車いす使用者用制御装置	かご内及び乗降ロビーに設ける
		階の表示	かごの停止予定階及び現在位置
		昇降方向の表示	昇降ロビーに設ける
		かごの幅	140cm以上
		かごの構造	車いすの転回に支障のない構造
		視覚障害者対応	かご内に到着階や戸の開閉を知らせる音声装置の設置
			かご内及び乗降ロビーの制御装置に点字等の表示
①-h 敷地内の通路	(1)一般	かご内及び乗降ロビーに到着するかごの昇降方向を知らせる音声装置の設置	
	(2)利用円滑化経路*	表面仕上げ	粗面、又は滑りにくい等の材料仕上げ
		段の構造	段鼻の突き出しがない等つまづきにくい構造
		幅(有効)	120cm以上
		転回場所の設置	通路の末端付近かつ50m以内の区間ごとに設ける
		戸の構造	自動的に開閉その他車いす使用者が用意に開閉して通過できる構造かつ前後に段差なし
		傾斜路の構造	幅は階段代用120cm以上、階段併設90cm以上
			勾配は1/12以上
			高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設ける
②-a 便所	車いす使用者用便房の構造	腰掛便座、手すり、洗面器等を適切に配置する	
		車いす使用者が円滑に利用できる十分な空間の確保	
	小便器の構造	床置き式の小便器その他を設ける	
	子育て環境への配慮	乳幼児用のいすを設ける	
		乳幼児用ベッドを設ける	
②-b 駐車場	人工肛門等使用者への配慮	オストメイト対応設備を設ける	
	車いす使用者用駐車施設の数	200台以下は1/50以上、200台超は1/100+2以上	
	車いす使用者用駐車施設の構造	幅は350cm以上	
		乗降の用に供する部分の表面を水平とする	
②-i 案内設備	案内板の構造	出入口付近に設置	
		大きく分かりやすい平易な文字、記号、図等で表記し、色彩は地色と対比効果がある	

※1 利用円滑化経路…敷地に接する道等から利用居室に至る経路、利用居室から車いす使用者用便房に至る経路及び利用居室から車いす使用者用駐車施設に至る経路のそれぞれ1以上を高齢者、障害者等が円滑に利用できるような経路

